

変動ベクトル図・基線変化グラフの見方

1. 解析の種類

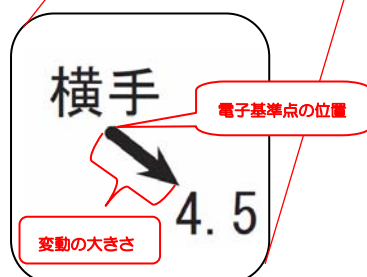
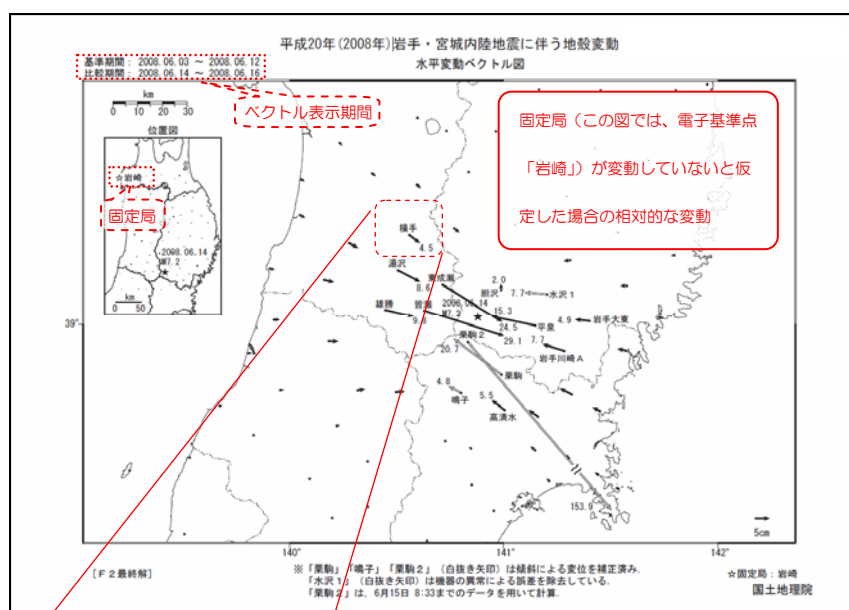
GEONET では、軌道暦（GPS 衛星の位置の情報）と解析時間の組み合わせにより最終解析 (F2)、速報解析 (R2)、迅速解析 (Q2) の 3 種類の解析を実施しています（下表参照）。

表 解析の種類

解析の種類	解析結果	GPS の軌道暦	解析データ	間隔	入手時間
最終解析 (F2)	F2 (最終解)	IGS 最終暦	24 時間	1 日	約 2 ~ 3 週間後
速報解析 (R2)	R2 (速報解)	IGS 超速報暦	24 時間	1 日	1 日後
迅速解析 (Q2)	Q2 (迅速解)	IGS 超速報暦	6 時間	3 時間	3 時間後

2. 水平変動ベクトル図

下図は電子基準点の水平方向の相対的な変動を示しています。

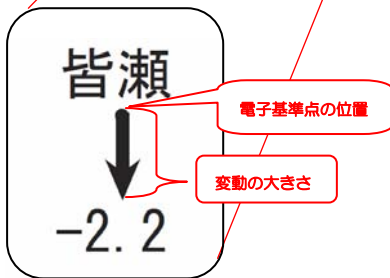
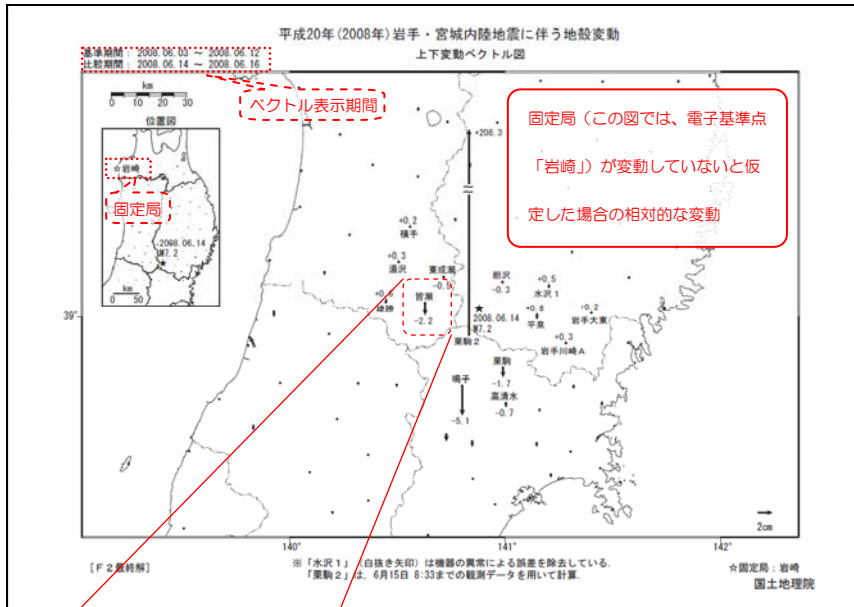


ベクトルの向きは水平方向における地殻変動の向きを表しています。

左の図は、電子基準点「横手」において、南東方向へ 4.5 cm の変動が観測されたことを表しています。

3. 上下変動ベクトル図

下図は電子基準点の上下方向の相対的な変動を示しています。



ベクトルの向きは隆起(上向き)あるいは沈降(下向き)を示しています。
左の図は、電子基準点「皆瀬」で2.2 cmの沈降が観測されたことを表しています。

4. 基線変化グラフ

基線変化グラフとは、2点の電子基準点間で、始点（固定局）に対して終点がどのように動いているかを、東西・南北・比高（高さ）に分け、時間順に表示したものです。

固定局は、地震の影響を受けていないデータが比較的安定している観測局が選ばれます。

